

# 大会宣言（案）

民主党千葉県総支部連合会は、本日、第14回定期大会を開催し、これまでの活動の総括と今年度の活動に向けて、全党一丸となって取り組むための方針を決定しました。

今、日本は国難ともいふべき東日本大震災からの復興と、原子力災害の収束問題に加え、失われた20年といわれる経済の疲弊と雇用不安、国と地方の累積債務の膨張による財政の硬直化、少子化、超高齢化社会の到来と社会保障問題等々難問が山積しています。外に目を転ずれば欧州通貨危機によって混沌とする世界経済、緊迫する中東情勢等、と、まさしく内憂外患ここに極まっております。

幸いにして、昨年9月に、我が民主党千葉県連出身にして、「草莽の志を忘れず、私を顧みず、正心誠意、国民と国家の未来に尽くさん」とする野田佳彦首相が誕生いたしました。

この危急存亡に対して、私たち政治の場にあるものは、ただただ国民の生活と国の将来を思い、私を捨て、党利党略を捨て、野田政権を支え、直面する諸問題を先送りすることなく、結束して、まず身を切って日本の再生を図らなければなりません。

今や、百家争鳴するのみで結論を出さず、危機に対処できない政治を国民はこれ以上許しません。

党員、サポーター及びご支持を頂く県民の皆さん、そして全有権者の皆さん、私達、民主党千葉県連にあつては、議員全員これらの危機感を共有するとともに、政権交代後2年間の経験と反省を踏まえ、一致団結して県連運営を行い政権基盤の強化に努めます。そして、現政権と一体となり、政権が抱える困難な課題に挑戦していくことをここに宣言いたします。

2012年2月12日  
民主党千葉県総支部連合会第14回定期大会